

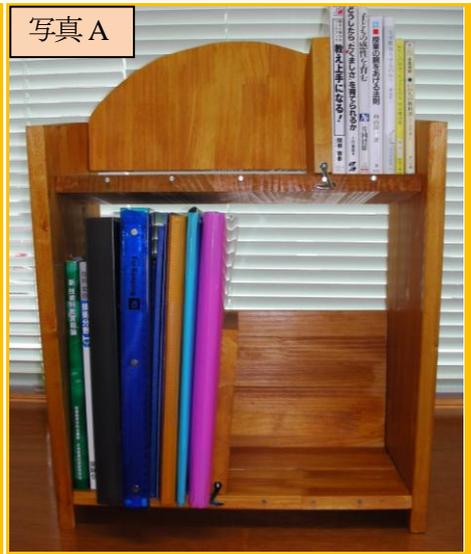
【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。

学校名	茨城大学	個人・グループ名	池田 康紘	作品名	本に優しいん棚
-----	------	----------	-------	-----	---------

・製作の目的

私は中学生の時に技術の授業で, 初めて自らが主体となって構成から設計, 製作までしたものが本棚で, その本棚を製作してからこれまで愛用してきました。しかし, この本棚には棚板が1枚しかないため, 収納できる本の数が少ないことが問題となってきました。

そこで, 収納数を多くして, 本の数が少なくても**衝撃**や**揺れ**によって本が倒れない本棚が欲しいと考え, 製作しました。(写真A)



・利用方法

家の学習机の上に設置し, 1段には小説や単行本サイズ, 2段にはA4サイズの書類や本, ファイルを収納できるようにしました。

・工夫点

- ① 本の収納部を床に対して15°傾け, 本の重心が角に集中し固定され飛び出さないようにしました。また, 角度を付けラベルが見やすくなるようにしました。(写真B)
- ② 1, 2段目ともにブックエンドを取り付けました。ブックエンドをスライドさせることができるように, 溝を付けました。また, スライドさせたブックエンドを固定するために, 金物を取り付け本棚の棚板に釘を打ち付けて, ブックエンドを**固定**できるようにしました。(写真C, D)
- ③ 接合では, 本棚の側面にくぎや木ねじの頭が見えなくするために, **だぼ**接合を用いました。(写真E)

